

PTA 講演会

(7月28日 [火] 19:00~) 石川小体育館

大久保さんは、中3、小6の子どもの保護者でもあります。親が子どもよりスマホを見ていることを題材とした『ママのスマホになりたい』という本も紹介してくれました。

当日は50名を超える参加者。多くの家庭で問題になっている内容を取り上げてくれました。ネット社会で生きていく大人・子ども・家族に、大きな示唆を与えてくれました。



ペアレントコントロールで、遊ぶ時間、課金、機能・年齢制限を設定できます。ゲームを1時間でやめている子の学力が高いというデータの紹介もありました。2時間以上の子の学力はどんどん下がっていきます。メリハリ・切り替えができる(約束を守る)子どもを育てたいものです。

会長挨拶の中で「自分たち親も学び・知ることが大事だ」という話がありました。ネット・ゲームの問題は家族全員で考え、みんなで取り組んでいくことが重要です。

テーマ「ゲームやネットとうまく付き合っていくために」
講師 大久保 真紀 様



いただいた資料にあったものから…

【明るい未来を築くために】

- *日常生活でしていけないことは、ネット上でもしてはいけない。基本は日常生活。
- *判断力、想像力、自制力、規範意識は、日常生活でも必要なこと
- *基本的な生活習慣が大事。自己有用感を子どもに。それらを育てる日常の生活がとても大事。
- *デジタル機器から離れた家族団らんの時間を！
- *大人のゲーム・ネット利用は問題ないか。子どもは大人を見て育つ。
×スマホばかり見ている親 ×会話がないう家族
- *インターネットもネットゲームも悪くはない。使う人によって「いいもの」にも「そうでないもの」にも。

【保護者の関心がないと子どもを守ることはいできない】

(これだけは親がやって！)

- ①ゲーム・ネットは親からの貸し出しであるという意識を持たせる。子どもの所有物にしない。
- ②フィルタリング・年齢にあった制限。
- ③やってはいけないことの共通理解(家庭のルール)。
- ④親は使っているサービスの把握(ID、パスワードの管理)、年齢などの利用規約、アプリの禁止行為の確認。
- ⑤困ったらすぐに相談してもらえ(親子)信頼関係をつくっておくこと。

【事前アンケート 記述欄から】(みんな悩んでいます)

- 見知らぬ人とチャットやボイスチャットをしながらのオンラインゲームなども絶対にさせたくない。
- ボイスチャットで、口論になって仲間外れにされたことがあった。ゲーム内での友人関係は大変気になる。
- 約束破りなどのペナルティーでゲームを一時禁止にすると、イライラが尋常じゃない(ひどい)。中毒になりかけているのではないかと心配。
- オンラインゲームは自分が稼(かせ)げようになってからやるべき。
- 多人数とつながってやるゲーム中に、自分が抜けることで他の人に迷惑がかかると言い、食事や入浴の時間になり呼んでも来ないということが数回続いたため、強制的にアンインストールした。たかがゲームなのに、生活に影響が出てしまうのは怖い。
- 宿題や勉強しないと、ネットゲームもタブレット禁止。課金はさせたことはないし、課金できないようになっている。また、知らない人とのオンラインゲームはできないようになっている。
- 決められた時間になっても、今やっているのが終わらないと止められないと言ってやってしまう。結局約束の時間オーバーに。やるなどは言わないが、上手く時間を使うにはどうしたらいいか。あまり酷いようなら一定時期止めさせることも考えているが、どうしたらいいか悩んでしまう。

子どもを守るのは大人の大事な役割の1つです。ネットゲームの内外で子どもを危険(命・金銭トラブル)にさらしてはいけません。自立して生活できる大人を育てるのも大人の大事な役割です。ネットゲームの世界に浸らせてしまっただけではいけません。もし、家庭にあるネットゲームが子どもの命や成長を大きく阻害しているのであれば、子どものうちから守ってやる…、これは大人(親)の責務です。ゲームの全てが悪いと言うものではありません。ネットゲームにも魅力はあります。しかし、我が子を、いしかわっ子を、絶対に(ネット)ゲーム依存症(254万人の予備軍)にしてはなりません。